

五月号は「走る」を特集しました。

子どもにとっては、歩くより走るこ
の方がリズムがあっているようです。学
校からの帰り道も、友だちの家に遊びに
行く時も、歩いて行けばいいのに、いつ
も走っています。走る遊びもたくさんあ
ります。かけっこ、缶ヶリ、鬼ごっこ、
サッカー、野球もそうです。大なわとび
も速くまで走ると、もどるのが大変な分
だけ、遊びとしてはおもしろいのです。

大人になると、歩く生活が基本で、走
ることは特別になりました。ジョギング
が流行っていますが、それだって健康の
ためが多く、意味なく走ったりはしない
ようです。自分自身のことを考えてみま
すと、急ぎの用事の時には自転車や車を
使います。たまに電車に乗り遅れそうに
なって走ると、まわりの目が気になっ
て恥ずかしくなるのも変ですね。

子どもと一緒にいると、走ることに
抵抗がなくなります。それだけ「走る」
ということ、子どもの自然な動きなの

でしょう。

*

今月の津守先生のお話、身につまされ
ます。我家の子どもは、娘12歳、息子8
歳と、もう大きいのですが、それでも、
下の子は特に、不安定になると、自分を
支えられない時があります。殆どは、母
親の私が他のことで手一杯、頭も一杯と
いう余裕のない時です。何を言っても、
すぐに泣いてしまったり。そんな時

は、一緒にお風呂に入った時、いつもよ
りたくさんつきあってあげると、気持ち
が落ち着くようです。あとから、もう大
きくなったのだから……とはげますと、
その年齢なりに自分ののり越えなければ
ならないことが、少しずつ理解でき、成
長しているようです。

ずいぶん冷静なことを書きましたが、実
際子どもが泣きわめいている時には、私
も興奮して怒ることもたびたびで、子育
て真の最中は、パニックと反省のくり返
しです。

(K)

幼児の教育

第九十一巻 第五号
(一九九二年五月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

平成四年五月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一―一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五一―二一―

発売所 株式会社フレール館

東京都千代田区神田小川町三一―

振替口座 東京九一一九六四〇

電話〇三三三二九二―七七七八

●本誌購読のご注文は、発売所フレール館にお願いいたします。

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。